

令和元年度 桑名市主要予算

生まれ変わる桑名駅とその周辺整備

■ 桑名駅自由通路整備事業

桑名駅とその周辺は、市民の利便性や踏切通過の安全性の観点から自由通路の整備が求められ、令和2年8月末の供用開始をめざして、現駅舎の南側約80メートルの場所で、桑名駅自由通路と橋上新駅舎の整備工事が着々と進んでいます。

■ プロポーザルによる桑名駅周辺複合施設等整備事業

駅の東側は、国内有数の観光都市として桑名市の顔となるシンボル空間を、駅の西側は、市民の利便性を高める生活利便施設の整備をめざしています。民間事業者の資本力、企画力、経験豊かなノウハウを最大限に活用した公民連携手法を進めており、市場性を反映した市民満足度の高い施設整備の事業提案をプロポーザル方式で公募しています。

■ 宿泊施設誘致促進条例を制定

桑名市へ宿泊施設の誘致を促進するとともに、誘致促進に必要な奨励措置を講ずることにより、観光の振興と賑わいの創出を図り、もって産業の健全な発展、雇用機会の拡大と市勢の進展に寄与するため条例を制定しました。



自由通路と橋上新駅舎の工事が進む桑名駅

会派市内視察先報告

会派絆は、今年市内において下記のように視察を行なっています。

- ICT教育(桑部小学校)
- 桑名市総合医療センター
- 又木茶屋
- 上水道施設
 - ・町屋水源地
 - ・上野浄水場
 - ・美鹿浄水場
 - ・古野浄水場
 - ・碓内ポンプ場
 - ・長島浄化センタークリーンピア
- 桑名市埋蔵文化財整理所
- 桑名市総合福祉センター
- 長島地区市民センター
- 長島福祉健康センター
- 輪中の郷
- 下水道コストキャップ工事現場
- 長島水辺のやすらぎパーク
- 大山田北小学校(外国人児童教育拠点校)
- その他 市内企業訪問

議会報告会の内容

● 議会報告と意見交換 ● テーマ「防災について」
2019年(令和元年)12月6日(金)午後6時30分~8時

大山田まちづくり拠点施設

出席議員

- 佐藤 肇
- 成田 久美子
- 畑 紀子
- 伊藤 恵一
- 飯屋 武人
- 太田 誠
- 倉田 明子

多度まちづくり拠点施設

出席議員

- 伊藤 研司
- 森下 幸泰
- 満仲 正次
- 市野 善隆
- 水谷 真幸
- 森 英一
- 松田 正美

桑部まちづくり拠点施設

出席議員

- 富田 薫
- 水谷 憲治
- 伊藤 真人
- 渡辺 仁美
- 近藤 浩
- 石田 正子

精義まちづくり拠点施設

出席議員

- 南澤 幸美
- 諏訪 輝富
- 愛敬 重之
- 多屋 真美
- 辻内 裕也
- 渡邊 清司

※参加費および事前申込は不要です。直接会場へお越しください。※4会場とも報告内容は同一です。

市民と心の“きずな”をつなぐ会

桑名市議会

会派

絆 だより

vol.2

発行日
2019.11.22

発行

桑名市議会 会派絆
中央町2丁目37番地
TEL.0594-24-1304

厳しい財政状況からの転換へ

サンファールの資産売却や、ふるさと納税など歳入確保の取り組みを積極的に行い、市民一人あたりに換算した貯金(基金)残高は、約1万円増加し8万6千円余となりました。また一人あたりに換算した借金(債務)残高は、約2千円減少し85万7千円余となりました。財政健全化は進んでいるものの、厳しい状況が続いています。

他市町に比べ、桑名市は、法人税、企業の設備投資による固定資産税等、企業からの税収入の割合が少ないため、財政的に厳しい状況にあると考えます。(下のグラフを参照ください)

将来に負担を残さず、そして災害に対応できるインフラ整備や教育・福祉環境の充実を図る財源確保のためにも、産業誘致・企業誘致等の環境・条例整備などを行うことで市税収入をさらに確保する取り組みが必要であると考えています。



会派 絆のメンバー

- わたなべ 渡辺 仁美
- おおた 太田 誠
- みなみさわ 南澤 幸美
- とみた 富田 薫
- もりした 森下 幸泰
- なりた 成田 久美子
- つしうら 辻内 裕也
- わたなべ 渡邊 清司
- くらた 倉田 明子
- みずたに 水谷 真幸

※名前順不同

豪雨災害の復旧に向けた補正予算を速やかに可決

9月本会議において、9月4日から5日にかけて桑名市を襲った記録的な豪雨による災害復旧や、7月の豪雨による災害復旧のため、2億8,120万円の補正予算が上程され、全会一致により可決されました。

今回の豪雨において、桑名市では人的な被害はなかったものの、床上浸水2軒、床下浸水3軒をはじめ、多度地区を中心に土砂災害が発生し、一部では通行止めも発生しました。そこで被害の拡大を防ぐために、市内約70カ所で復旧工事を実施いたします。

また、員弁川・肱江川で氾濫危険水位を越え、警戒レベル4にあたる避難指示が4,118世帯10,946人に、また21,277世帯49,118人に避難勧告が出されましたが、実際に避難されたのは31世帯71人でした。これからは「自らの命は自らが守る」の意識を持ち、避難に時間を要する高齢者や障害のある方は警戒レベル3で避難を、警戒レベル4では速やかに全員避難をしてください。警戒レベル5では、すでに災害が発生しているため命を守る行動をとりましょう。



多度地区力尾川の被災現場



活動報告

桑名駅西土地区画整理事業

桑名駅西土地区画整理事業について

- Q 駅西口付近の現在の整備状況について。
- Q 蛸塚益生線の整備予定と課題について。
- Q 市が期待する駅西口の姿について。

A 駅西口側のアクセス確保に向け、周辺の幹線道路の整備を中心に事業を実施しています。具体的には、駅西口区域の南北軸を結ぶ「蛸塚益生線」と同路線から駅西口を結ぶ「西口駅前線」を中心にこれと関連した周辺道路・宅地の整備を進めています。

A 現在、一号館付近から桑名三重信用金庫駅西支店付近を施工しています。駅西口部分の通過には、支障となる建物を順に移転整備する必要があります。移転先の確保を計画的に進めています。また、交差する桑名高校から駅西口まで「西桑名西方線」の整備が必要となりますが、地権者との交渉で目途が立っていません。そこで、代替え機能を持たせ交通の流れを確保できるように「西口駅前線」の整備に努めています。

A 市では、桑名駅自由通路の整備とともに、交通結節点としての機能強化と都市機能の再構築により賑わいの創出を図るため、民間事業者からの、創意工夫あふれる提案や、事業ノウハウを期待し桑名駅周辺複合施設等整備事業プロポーザルにより提案を募集しています。優れた住宅都市として、市民の利便性を高める生活便利施設構築を目標としています。



会派会長 南澤 幸美
安全で安心なまちづくりを目指して、良識と誠意・情熱と節度を持って行動し、住民一人ひとりの声を大切に市政に反映します。

第17代議長就任



渡邊 清司
皆様から選挙で信任され、市の議決機関として、予算や条例の審議や、条例や要綱などの審査を行い、市政に対して議案審議などの機能を行使し、より良い生活環境の実現のために活動しています。

平成30年12月18日に、第17代議長に就任させていただきました。平成時代の最後として令和時代の最初の議長として、御代替わりの時に務めさせていただきますことを、関係各位に厚く感謝いたします。

さて、人口減少、少子高齢化が加速するとともに、ICTをはじめテクノロジーが進化し、産業、雇用、教育、文化など、社会の生活の領域にわたり根本的な構造変化が予想されています。さらに、地球温暖化の進行や異常気象の増大など環境問題は地域レベルで対応が迫られています。地方自治体は諸般の対策を先導し、市議会として責務を十分に果たす上で、議員としての自己研鑽に取り組めます。

本市においても未来を見つめて、「AIを活用した教育現場の未来」「キャッシュレス社会と地域経済の未来」「少子高齢化時代の未来に向けた社会保障」「空き家や耕作放棄地の未来に向けた対策」「災害に強い都市づくり」など、多くの課題に取り組んでいきたいと考えています。このように、身近な問題を取り扱う地方議会が担う役割の重要性は高まっています。私もあと1か月余りで、議長を退任することとなります。今後は、多様な民意を集約、反映することができよう、一議員として努力をいたします。引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あなたの想いに応える一般質問と応答



太田 誠
桑名の未来のため、これまでの行政経験を活かして、みなさんの想いを市政に反映させるべく取り組みます。

公立幼稚園における3年保育 通園・通学バスの利用者負担 ポンプの排水能力と更新計画

- Q 10月から幼児教育、保育の無償化が予定されていますが、私立と同じ土俵に立って、3歳からの3年保育は実施しないのですか？
- Q 公立幼稚園が培った教育活動により就学前教育をリードしつつ、長年に亘って幼少7年教育を実施してきた経緯があり、3歳児保育については私立にお任せする方向で考えています。
- Q 多度幼稚園の通園バスや平成23年に再編統合された青葉小学校の通学バスは無料。平成27年に再編統合された長島幼稚園の通園バスは有料であり、公平性に欠けるので無料にすべきではないですか？
- Q 多度幼稚園は、旧多度町時代から無料で運行されていたので、現段階ではそのままの運行とさせていただきます。
- Q 市内には40年以上前に建設されたポンプ場が多数ありますが、想定外の降雨量に対して、排水能力の低下対策と更新計画は？
- Q ポンプ場及び排水機場は、国や県の施設を含めて市内に36機あり、長寿命化計画により適正な維持管理に努めています。また、更新計画については、県へ新たな排水機場の築造を要望していきます。

市政をもっと身近に！寄り添った一般質問

公立幼稚園について

- Q 3歳児からの幼児教育が無償化となり私立幼稚園との共存共栄の話し合いを持つべきではないですか？
- Q 今までの歴史の中で3歳児については私立にお任せする方向で考えています。私立との共存については、今後の入園状況や無償化に伴う影響などを勘案しながら検討していきます。



新しい福祉の形について

- Q 新しい福祉拠点として、公民連携による持続可能な福祉サービスのための支援について。
- Q (仮称)福祉ヴィレッジは多世代共生型施設の特徴・趣旨を生かした事業者提案を基に協議を重ねており、相談、指導等の運営支援を考えています。

公共交通について

- Q 養老鉄道とコミュニティバスの多度ルートの連携と桑名駅乗り入れについて。
- Q 高齢者が増加する中で公共交通の果たす役割は大きいです。養老鉄道の乗客が減少することのないよう配慮しつつ、ルート設定し乗り入れを考えます。



成田 久美子
我が事と感じるには議会傍聴を！と呼びかけ9月議会は傍聴席がいっぱいに埋まりました。皆さん来てください。

安心・安全なまちくわなを目指して!!



倉田 明子
皆様の声をお聴きし、大人も、子どもも、お年寄りも、すべての人の笑顔が輝くまち桑名を目指しています。

市民の命を守る避難情報の取り組みについて

- Q 「避難勧告」と「避難指示」の違いがわかりにくく西日本豪雨では多くの高齢者が逃げ遅れて犠牲になりました。同様の犠牲者を出さないための取り組みをお願いします。
- Q これまで「避難準備・高齢者避難開始」「避難勧告」「避難指示」として発令してきましたが、今後は1〜5の「警戒レベル」を加えた避難情報を発令します。※(例)レベル3…高齢者は避難！レベル4…全員避難！

犯罪被害者の支援施策について

- Q 犯罪被害者は家族を失い、障害を負われ、財産を奪われる直接的被害に加え周囲やメディアによる無責任な言動等により二次的被害を受けています。県は4月施行で支援条例を制定しています。市においても相談窓口や体制づくりが必要と考えます。
- Q 県が条例を制定したことを踏まえ、関係機関や部署と連携を図り、専門的な相談窓口の設置と支援事業等の検討を進めています。

持続可能な桑名を目指す一般質問



森下 幸泰
市民の皆さんとの対話を大切に、桑名のことをみんなで決める市民自治を進め、持続可能な桑名をつくります。

地域の特性に合わせた防災意識の向上について

- Q 各地域の活動に対し市としてどのような支援を行っているのか？
- Q タウンウォッチングや図上災害訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)などを通じて地域の実情に合わせた防災意識が高まりつつある地域も出てきました。今後も各地域に合わせた訓練内容となるように積極的に支援していきます。
- Q 私設避難所や車中泊など、公設避難所以外の場所への避難者の支援はどう考えているか？
- Q 避難物資等はできるだけご自身で取りに来ていただきたいが、星見ヶ丘に整備中の防災拠点施設の活用を前提に、公設避難所以外の場所に避難した被災者の方への支援の方法や、状況把握のための情報収集について検討していきます。

水産資源の保護について

- Q 桑名を代表する貴重な資源である「はまぐり」について今後どのように資源保護の啓蒙を図っていくのか？
- Q 漁協の取組みの支援や関係機関との連携強化だけでなく、新たに教育委員会との連携のもと「くわの宝はまぐり体験事業」として、小学生にはまぐりの魅力と併せて密漁対策や漁協の活動を知ってもらい、はまぐり資源保護の啓蒙に努めます。

観光振興及びにぎわい創出を目的にホテルを誘致!

桑名市宿泊施設誘致促進条例の制定について

- Q 本条例は、一定の条件を満たした宿泊施設に対して奨励金を交付するものだが、条例制定の目的について問う。
- Q 桑名市の宿泊施設の特徴は、利便性の高い桑名駅周辺にビジネスホテルが多く、客室稼働率が年間平均で70%~90%と高いことです。夕食時に市内の飲食店を利用する機会が多い、ビジネスユースの利用者が満室を理由に市外の宿泊施設に流れることがないように、宿泊施設の充実を図る必要があります。本条例は、一定の条件を満たした宿泊施設に対して企業等誘致促進条例による奨励金に上乗せして更に手厚く奨励金を交付するもの

です。本条例により宿泊施設の誘致を促進し、市内を訪れる方の滞在時間を延伸させ、ひいては市内での消費行動に大きな影響を及ぼすことになり、本市の観光の振興及びにぎわい創出を図ることになると考えます。

現在、宿泊施設誘致を促進する補助制度を創設する自治体が増えてきており、都市間競争は今後更に厳しくなっていくことが想定されており、桑名市としてもしっかりと対応していきます。



辻内 裕也
ここ数年、大規模人気が高まっています。相模の力は「礼」の心が生きています。私も強く礼儀ある力士の家を継承して日々、精進していきたいと思っております。

変化する時代だからこそ身近なことをひとつずつ!

小中一貫教育について

- Q 令和2年4月から始まる小中一貫「教育」は何か変わるの？
- Q 小・中学校の教師が連携・協働し、義務教育9年間を見通した教育に変わります。特に、子どもを主役とした学び合いの授業やICTの効果的活用、小学校高学年からの一部教科担任制などを実施し、子どもの「学び」と「育ち」をつないでいきます。施設については、現行のまま「施設分離型」でスタートします。

保育園の定員について

- Q きょうだい別園になることもあるので、園の定員を増やせないの？
- Q 令和2年度より新しい施設の開園予定で、定員は減らすことなく増やしています。子どもの数は減っても保育の需要は高まっている現状を踏まえ、今後も需要に即して検討していきます。

市営住宅の防災対策について

- Q 市営住宅では壁に穴を開けて家具をねじ止め固定できませんか？
- Q 固定は地震対策において大変重要です。壁等に転倒防止器具類を設置しようとするときは、事前に「市営住宅模様替承認申請書」を都市管理課まで提出して承認を受けていただければ、可能です。(※壁のねじ穴補修など原状回復は免除される旨、入居のしおりを更新しました)



渡辺 仁美
3人の子供を実家で育てるシングルマザーです。生活する市民の声を届けます。身近なご意見をぜひお聞かせください!

人口減少社会へ向けた水道のあり方について



富田 薫
皆様の声に耳を傾けたら、「統治で暮らしは変わるのだ」と実感していた。ける努力、届けたいと考えています。

水道料金の改定について

- Q 平成29年7月にも水道料金の値上げが行われ、桑名市の水道料金は高いといわれていますが、料金は本当に適正なのでしょうか？
- Q 1㎡あたりの単価は約128円であり、類似団体の平均168円や、全国平均172円を大きく下回っており、三重県下の他市町と比較しても、低廉な料金体系となっています。老朽管路・浄水場・配水池の施設の耐震化・更新を行う必要があり、今後事業費は増加すると予測されます。計画的に料金改定を行うことも考えています。

民営化か広域化か

- Q 具体的なコスト削減策を考えていかないと、水道料金はますます上がる一方ですが、民営化か、近隣市町と手を組み物理的なコストを下げていく広域化の推進の必要があると考えますが、どのように考えていますか？
- Q 民営化については他市町の動向を注視している状況です。広域化については、各市町で水道料金や財政状況、施設整備水準などの違いが大きな課題となっており、広域化の先行事例を踏まえて、三重県主導のもと、桑名地区の水道事業体で意見交換を行っており、引き続き広域連携を推進する協議にかかわっていきます。

今後の教育のビジョンについての一般質問



水谷 真幸
教員の方々が児童生徒一人ひとりに余裕をもって向き合えるようICTの導入など教育環境整備を進めます。

ICT(情報通信技術)の活用について

- インターネットやスマートフォン、タブレット端末といったICT(情報通信技術)の発展により、学校の教室は風景を変えようとしています。現代の子どもは忙しいです。ゆとり教育を経て、学ぶ内容は多くなり、英語やプログラミングなど新たに学ぶことも増えてきました。加えて、学校が終われば習い事など、盛りだくさんです。市からもICT環境の再整備を行うことで授業を変えていきたい、ICTを最大限に活用すること
- は未来の授業への展開につながるのではないかと期待を込めて考えているとの旨の回答を得ました。ICTの活用により、授業の姿が変わっていきます。さらに一歩進み、不確実な将来の中でも成人以降も時代に合せて常に学び続けられるように幼少期から自分で学んでいくスタイルを確立していくことや一人ひとりにあった教育を提供できるようICTなどの教育環境整備を進めていきます。

